

## 別紙様式 1

## 平成23年度学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	42	学校名	県立玉造工業高等学校					課程	全日制		学校長名	平 沼 栄				
教頭名	黒 川 喜久雄										事務長名	山 田 幸 二				
教職員数	教諭	40	養護教諭	1	常勤講師	8	非常勤講師	8	実習教諭 実習講師 実習助手	9	事務職員	4	技術職員等	4	計	77
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	工業に関する学科	173	16							173	16	5				
	機械科			72	2	68	2			140	4	4				
	システム工学科			31	4	14	5			45	9	2				
	電気科			39	1	39	1			78	2	2				
情報技術科			28	12	24	8			52	20	2					

## 2 目指す学校像

至誠・勤勉・協和の校訓を基本に、現代社会における工業の果たす役割を理解させ、適切な技能及び技術を習得させる。また、すぐれた個性の伸長と豊かな人間性の育成に努め、社会の発展に寄与する産業人を育成する。

## 3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項目	現状分析	課題
教 務	基礎基本の学習内容を良く理解していない生徒が多いことから、習熟度別授業やTT授業、HR小テストなどを実施しているが、基礎学力の向上にはなかなか結びついていない。さらに学習意欲が低く、家庭学習の習慣がないことから、定期考査における成績不振者の割合が30%を超えることもある。よって、資格取得については積極的に取り組む生徒もいる反面、取得の意欲の全くない生徒もみられる。「括り募集」も6年目になり、共通履修や選択授業等の展開は定着しつつある。しかし、生徒の基礎力を伸ばすための指導内容や方法、指導計画は不十分であると思われる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の実態に応じ、義務教育段階の学習内容の確実な定着を図るための学習機会を設けることを促進することが必要である</li> <li>各教科等の授業において「わかる授業」の展開を重視することが必要である。</li> <li>学習意欲の向上に生かすため、あらゆる活動の場面において、生徒の良い点を積極的に評価することが必要である。</li> </ul>
生徒指導	平成22年度特別指導件数が2倍、延べ人数で2割増加した。「反道徳的問題行動」「喫煙」「交通関係」が多いが、特別支援的指導を要するケースもあり、多様化している。交通関係では生徒意識の低さが目立ち、交通死亡事故、重症事故の原因と思われる。「遅刻指導」「服装・頭髪指導」についても減少傾向ではあるが、基本的な生活習慣、規範意識が身につけていない生徒が見られる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「安全・安心・楽しい」学校づくりを継続し、基本的な生活習慣・規範意識の確立を目指す指導を行う。</li> <li>交通安全教育の継続、充実させる。</li> </ul>
進路指導	東日本大震災の影響により、東北地方から県内の企業に多数の生徒が応募するものと予想され、技術職の競争はこれまでに激化するものと思われる。復興関連の職種で求人数の増加が見込まれるものの、技能職の求人は復興状況に左右され不透明な状況である。今年度の就職希望者数は昨年度より約50%も増えるので、企業を訪問し求人要請をする。近年、就業意欲の低下や基礎学力の不足により合格率が下落し、昨年一次の合格率は約60%である。大学進学は17年度は23名と多かったが、徐々に減少傾向にあり、今年度は9名程度の希望に留まっている。家庭の経済状況の影響も大きいと思われる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>就職に対する危機意識を持たせ、職業選択能力の向上を図る。</li> <li>企業訪問を実施し、求人開拓を行う。</li> <li>就職試験の合格率の向上を図る。</li> <li>進学希望生徒の学習意欲を向上させると共に進学希望先のより詳細な情報提供を行う。</li> </ul>
学習指導	小中学校で身につけるべき計算力、漢字力の定着がみられないなど、基礎学力が身に付いていない生徒がいる。朝のSHR後の10分間を基礎学力向上の時間と読書の時間に充てているが、有効的に活用するのが難しい。 平成22年度図書館来館者（昼休みと放課後）数は998人であった。一昨年は年度途中までプレハブ校舎だったので来館生徒数の比較はできない。 進学課外への参加者が少ない。資格取得講座の7時間目については積極的な参加者が多くみられる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の学習・読書の時間を有効活用し、基礎学力向上につなげる。</li> <li>各学年で行っている「確認テスト」を有効活用し、基礎基本の定着につなげる。</li> <li>図書館から情報を発信し、図書館への生徒の関心を高める。</li> <li>生徒向け図書を増やしたり、ミニ館報などを用いたりして、生徒の来館数を増やす。</li> <li>進学課外ならびに資格取得講座を、生徒に積極的にアピールする。</li> </ul>
保健厚生	現在の防災規程は不明確な部分が多く、早急に見直しが必要と思われる。 また本校では、肥満や痩せ傾向の生徒が増えており、体調と体型の自己管理能力の乏しい生徒が多い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害に直面した際に安全に行動できるよう、防災避難に対する意識づけをする。</li> <li>健全な生活習慣の意識を高める。</li> </ul>
渉 外	PTA総会への出席率が20%以下と低いのが現状である。そこで、PTAの球技大会や研修会等を企画し交流を深めている。また、生徒の通学安全の確保するために定期的（月1回）に朝夕のマナーアップ立哨活動を実施し、チャーターバスの円滑な運営に協力している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各行事への出席率をより高める。</li> <li>PTA行事を通して保護者と教職員のコミュニケーションを深める。</li> </ul>
特別活動	部活動加入率は低下傾向にあるが、1年生の多くの部活加入がみられた。 継続率を上げ、部活動加入率の低下傾向に歯止めをかけるとともに、新1年生の積極的な部活加入を継続的に呼びかける。 各種行事に参加する生徒の前向きな姿勢が見られた。 地域との交流事業を行ったが、十分な広報効果が得られなかった。より積極的に取り組むとともに、広報活動を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種行事の充実を努める。</li> <li>部活動の参加率を増やす。</li> <li>奉仕活動参加の機会を増やす。</li> </ul>

4 中期的目標

- ・基礎学力の向上を図る。
- ・基本的生活習慣の確立と規範意識の育成を図る。
- ・進路指導の充実を図る。
- ・部活動や特別活動を充実させる。
- ・地域と連携を図り，開かれた学校づくりに努める。

5 本年度の重点目標

重 点 項 目	重 点 目 標
分かる授業を展開し，基礎学力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 生徒の実態に応じ，学習内容を精選して基礎学力の向上を図る。</li> <li>② 各教科内で研修を充実させ，分かる授業の展開と教科間の連携を図る。</li> <li>③ 学習規律の向上を目指すとともに，習熟度別及びT Tの授業の充実を図る。</li> <li>④ 朝の学習の時間を通じ，基礎学力の向上を図る。</li> <li>⑤ 資格取得指導の充実を図るとともに，進学希望者へ適切な指導を計画実施する。</li> </ul>
基本的生活習慣の確立と規範意識の育成を図るとともに，交通安全教育の推進に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑥ 挨拶の励行や遅刻・早退・欠席の減少に努める。</li> <li>⑦ 頭髪や服装等を正そうとする意識を身につけさせる。</li> <li>⑧ 社会人として必要な公共のマナーを身につけさせる。</li> <li>⑨ 保護者や関係機関との連携を密にとり，生徒の安全確保に努める。</li> <li>⑩ 交通安全教育を推進し，交通安全に対する意識の向上を図る。</li> </ul>
望ましい勤労観や職業観の育成に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑪ 全学年を通じ，計画的に進路に対する意識向上を図り，希望進路の実現を図る。</li> <li>⑫ 企業及び大学等の情報を広く収集し，進路選択に役立たせる。</li> </ul>
学校行事の充実ならびに，部活動及び奉仕体験活動の活発化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑬ 学校行事を通して生徒と保護者や地域との交流を図り，より充実感や達成感のあるものにする。</li> <li>⑭ 部活動加入率を高め，活性化を図る。</li> <li>⑮ 奉仕体験活動を充実させる。</li> <li>⑯ 生徒の委員会活動を活発にする。</li> </ul>
中学校や地域と連携を図り，開かれた学校づくりに努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑰ 近隣中学校並びに地域への広報活動を充実させる。</li> <li>⑱ 生徒・保護者及び教職員の信頼関係を深める。</li> <li>⑲ 個人情報保護の徹底に努める。</li> </ul>